



# 新年おめでとうございます

今年、戦後80年の節目の年。日本政府が核兵器禁止条約に参加し、憲法9条を生かした外交で、核も戦争も心配のない世界にするために、さらに世論と運動を広げる決意です。

昨年の総選挙では、自民、公明が過半数を失い、新しい政治を求める動きが始まっています。夏には都議会議員選挙と参議院選挙があります。物価高騰と医療、介護など社会保障の削減、負担増をおしつけてきた政治をきり変えるチャンスです。

くらし、福祉、教育など区民の生活を支え、学校改築、区有施設の改築・改修などに必要な財源を確保するためにも、不要不急の池袋駅周辺の市街地再開発事業やイケバスを見直さなければなりません。

日本共産党区議団は、大型開発優先から区民の暮らし、福祉、教育を守る為に全力を尽くします。



## 24年第3回定例区議会、第4回定例区議会について

第3回定例会は、9月18日から10月25日の日程で開催。一般質問は、かきうち議員、小林議員が行いました。決算特別委員会は、清水議員、儀武議員、かきうち議員が審査にあたりました。儀武議員が決算認定に反対する討論及び核兵器禁止条約の署名批准を求める陳情の継続審査に反対する討論、森議員がマイナ保険証と現行保険証の両立を求める陳情の不採択に反対する討論を行いました。

第4回定例会は、11月13日から12月3日の日程で開催。一般質問は森議員が行いました。かきうち議員が区民住宅廃止条例に反対する討論、儀武議員が企業団体献金の禁止などを国に求める陳情の不採択及び再審法改正の促進を求める陳情・請願の継続審査に反対する討論、森議員が生活保護基準額引き上げを求める陳情の継続審査に反対する討論を行いました。

### 深刻な区民生活を守れない

## 23年度決算に反対

23年度一般会計決算並びに3特別会計決算の認定に次の理由で反対する。

第一に区民生活を守り、需要を満たすために全力を尽くす執行を進めていない。

①防災では避難場所の確保が不十分。②物価高騰で暮らしが深刻。生活保護利用者への法外援護の拡充を求めても拒否。③区営住宅等の新規建設はしない。「安心住まい提供」事業も拡充しない。④中小企業・中小業者への家賃や固定費の直接支援もない。⑤特養ホーム建設計画は大幅に遅れ、見通しもない。区の責任は重大。⑥介護事業所の実態調査実施と具体的な処遇改善もない。⑦障がい者施設の職員確保に区独自の支援策もない。⑧私立保育園の減収補助を年度末まで支給しない。⑨教育の私費負担軽減を求めても拒否するなど、認められない。

第二に区民にとって不要、不急の事業である市街地再開発事業やイケバスを進めている。イケバスではなく、区民要望の強い、コミュニティバスを導入すべき。

保険料負担が大きい国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の3特別会計も認められない。



### 25年度予算要望 533項目

## 区長に申し入れ

23年12月4日、日本共産党区議団は区長に対し、「2025年度豊島区政の取り組むべき課題と予算編成に関する要望書



(第1次) (533項目)を提出しました。あわせて提出した「物価高騰など緊急・重点対策に関する特別要望書」(49項目)では、公契約条例を実効性のあるものにする、国民健康保険料、介護保険料、後期高齢者医療保険料の引き下げ、物価高騰で困っている区民、中小企業への経済支援や年末年始の相談体制整備などを行うよう求めました。